

令和5年1月30日

病院長候補者の選考過程及び選考理由

道勇学病院長の任期が令和5年3月31日に満了となることに伴い、病院長候補者選考委員会において、病院長任用規程第9条の規定に基づき、同規程第4条に定める病院長の基準を満たす病院長候補者の選考を行い、同候補者1名を下記のとおり選定した。

記

1 病院長候補者

- (1) 候補者 どうゆうまなぶ 道勇学氏 医学部内科学講座（神経内科）・教授
(2) 任期 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで（2年間）

2 病院長の資格基準

- (1) 愛知医科大学の臨床医学部門の教授（大学附属施設、医学部附属施設及び研究所の臨床医学系教授を含む。）であること。
(2) 医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢・指導力等の医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有すること。
(3) 医療機関等における経営管理に関する識見並びに組織管理経験等を含んだ組織管理能力等の愛知医科大学病院（以下「病院」という。）を管理運営する上で必要な資質及び能力を有すること。
(4) 病院が懸案とする当面の課題を解決する意欲及び能力を有すること。
病院が懸案とする当面の課題は、以下のとおりとする。
- ① 医療の質と安全性の向上
 - ② 経営基盤強化につながる病院経営
 - ③ 臨床医学研究・先端医療開発の充実
 - ④ 有能な医療人の育成と活用
 - ⑤ 地域医療連携の促進
 - ⑥ 救急医療体制の充実
 - ⑦ 働き方改革への対応
 - ⑧ リハビリテーション医療の充実

3 選考過程及び選考理由

(1) 選考過程

第1回病院長候補者選考委員会を令和4年11月8日（火）に開催し、病院長の資格基準及び常任理事会において明確化された病院が懸案とする当面の課題の確認を行った。

なお、上記2(2)及び(3)の基準については、病院における「医療安全管理」及び「組

織管理運営」に密接な関係性を持つ委員会の委員を務めていること等を客観的な判断基準として設定し、確認作業を進めたものである。

次いで、上記2(1)から(3)に定める病院長の資格基準を満たし、かつ、病院長の職務の重要性に鑑み、病院が懸案とする当面の課題を解決するために病院長の任期2年を全うすることができる候補者の選考を行い、これらの基準を満たす選考対象者4名を選出した。

選考対象者4名に対し、病院が懸案とする当面の課題の解決方法を含めた所信・抱負及び略歴書の提出を求めた結果、1名から関係書類の提出があり、3名から辞退の申し出があった。

第2回病院長候補者選考委員会を令和4年12月21日(水)に開催し、選考対象者1名から提出のあった関係書類の確認及び同選考対象者に対する面談を実施し、これらの結果を踏まえ、慎重審議の結果、同選考対象者を病院長候補者として選定した。

(2) 選考理由

上記候補者は、上記2(1)から(3)に定める病院長の資格基準を満たし、かつ、上記2(4)に定める病院が懸案とする当面の課題を解決する意欲及び能力を有する者であると判断した。